

代表質問

誘客拡大を進め、観光交流人口の増加を目指す。

質問 公共交通機関が充実しているとはいえない当市において、観光ガイドの方々とともにめぐる観光が有効と考えるが見解を伺う。

答弁 ガイドの方々に運転、案内して頂くことについては、法の確認が必要である。現在タクシーでも案内等を行っている。その辺のバランスも考慮し、今後ガイドの方々とも協議して前に進めていくことが大事と考える。

質問 以前にも秋ノ宮から川原毛、泥湯までの木地山線の拡幅、整備について大変重要である旨を提案している。まさに地熱ロードの整備でもあり、本市には大きな利益が生ずると思う。県、国への働きかけを更に強烈に進めるべきでは。

答弁 地熱発電所、川原毛地獄、泥湯温泉と大事な観光ルートである。要望活動は毎年行っているが、優先順位を上げることにについて検討していく。



湯沢政策研究会
湯沢市議会議員 豪

・ 施政方針、令和6年度当初予算案の概要について

・ 市職員のタスクマネジメントについて

質問 令和6年度当初予算案について、施政方針では本市の財政について、これまで以上に慎重な運営が求められると述べられたが、そのゆえんは何か。

答弁 健全財政の基本である収支均衡の確保が厳しい状況が続いている。社会情勢の変化など、消費動向や地域経済が不透明かつ不安定な状態が続くと考えられ、慢性的な財源不足への対応と、事業の実施に伴う公債費や公共施設の維持管理、長寿命化に係る経費など将来の財政負担への対応は、本市が抱える大きな課題である。

施が必要なことから、慎重な財政運営を行うこととしている。

質問 令和5年度当初予算と比較し、約10%の大幅増の要因は。

答弁 主な要因は、人件費、物件費、投資的経費が令和5年度と比べ増加している。特に投資的経費は、湯沢文化会館施設整備事業、湯沢駅周辺複合施設等整備事業、緑風荘大規模改修事業、道の駅おがち周辺整備事業、成沢工業団地整備事業など公共施設の整備が本格始動することから、令和5年度当初予算より22億円程度増加した。

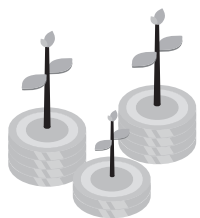
質問 投資的経費が大きくなった理由は。

答弁 ハード事業について非常に大きい部分が重なった。様々な理由はあるが、その事業を実

施、執行する財源について、財源を使える期限、例えば起債の法律上の期限が1つ、住民の要望を優先的に考えて実施したいということの2つが上げられるのではないかと考える。

質問 財政の健全性は維持されているという見解だが、財政運営は将来負担をよく考えながら、規律を持って行われるのが妥当ではないか。

答弁 将来の負担率と公債費率に当然、跳ね返らないということとは言えないが、そういうものをしっかり見据えた中で事業のやりくりをしたい。



湯沢市議会
YouTube
チャンネル
代表質問の動画を
ご覧になれます。

